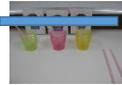
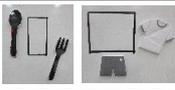


酒田特別支援学校知的小学部 算数I段階

数量の基礎	<p>具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。</p>					
	<p>腕にはめた靴下を蛇に見立て、児童にかかわる。児童に靴下をとってもらう。</p>	<p>粘土板に貼られたビニールテープをはがす。</p>	<p>2台のタブレットに表示された画像に視線を向けて、自分が見たい映像を伝える。</p>	<p>台に貼られた丸シールをはがして、印に貼る。</p>		
	<p>目の前で隠された物を探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりすること。</p>					
	<p>中に入っている玉が見える状態で提示する。児童に玉をとってもらう。</p>	<p>児童の前で玉を隠す。玉が見えなくなった状態で、児童が探すようにする。</p>				
	<p>ものどものとを対応させて配ること。</p>					
		<p>3までの数を扱う。一人に1つずつ皿やコップを配る。</p>	<p>印(丸シール)の上に1つずつ洗濯バサミを留める。</p>	<p>動物の口に1つずつ餌を入れる。</p>	<p>印の上に1つずつ丸シールを貼る。</p>	<p>穴に1本ずつペグをさす。</p>
		<p>台紙に1つずつ洗濯ばさみを留める。</p>				
	<p>分割した絵カードを組み合わせる。</p>					
		<p>2分割のイラストに注目し、正しく組み合わせる。</p>	<p>2分割のイラストに注目し、正しく組み合わせる。</p>	<p>2分割のイラストに注目し、正しく組み合わせる。</p>	<p>数字を手掛かりにしてカードを左からまたは上から小さい順に並べ、絵を完成させる。</p>	<p>3分割のイラストに注目し、正しく組み合わせる。</p>
		<p>三つの絵柄が混在するパズルを、色や位置を捉えて完成させる。</p>	<p>4分割のイラストに注目し、正しく組み合わせる。</p>	<p>3~4分割やジグソーパズルのイラストに注目し、正しく組み合わせる。</p>	<p>3分割のイラストに注目し、正しく組み合わせる。</p>	<p>3分割のイラストに注目し、正しく組み合わせる。</p>
<p>関連の深い絵カードを組み合わせる。</p>						
	<p>様々な種類の犬と猫の写真を見て、犬と猫に仲間分けをする。</p>	<p>関連の深いものを組み合わせる。</p>	<p>動物園の絵に動物の絵カードを集める。</p>	<p>冷蔵庫、動物園と関係のある絵カードを仲間分けする。</p>	<p>食べるものと動物園にいるもの、それぞれと関係のある写真カードを仲間分けする。</p>	
<p>ものの有無に気付くこと。</p>						
<p>目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すこと。</p>						
<p>机上に提示したものの個数を数える。</p>						
<p>3までの範囲で具体物を取る。</p>						
	<p>数字の数だけ具体物を取り、ケースに入れる。</p>	<p>数詞を聞いて、または数字を見てその数だけ具材を選び、ピザ生地に乗せる。</p>				

数と計算	5までの範囲で数唱をすること。							
		<ul style="list-style-type: none"> ・数字を手掛かりにしてカードを左からまたは上から小さい順に並べる ・数字を指差しながら数唱する。 ・正しく並べられたかを数字シートを活用して確認する。 						
対応させてものを配ること。								
		<ul style="list-style-type: none"> ・お皿の数だけスプーンやケーキを手に取り、配る(3までの数を扱う)。 【評価】はじめにお皿の数だけ物を手を取ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の1~3の言葉掛けや身振り、指差しを受けて、印(丸シール)に洗濯ばさみを留める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の口の数だけりんごが入った皿を選び、配る。 【評価】はじめに動物の口の数だけ入った皿を選んだか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの人数だけコップを取り、配る。 【評価】はじめに友だちの人数だけコップを取ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コップの数だけストローを取り、配る。 【評価】はじめにコップの数だけストローを取ったか。 		
キャラクターの数だけを皿取り、配ること。								
		<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの数だけを皿取り、配る。 【評価】はじめにキャラクターの数だけ皿を取ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・皿の数だけパンの入ったトレーを選び、配る。 【評価】はじめに皿の数だけパンのトレーを選んだか。 					
形や色、位置が変わっても、数は変わらないことに気付くこと。								
		<ul style="list-style-type: none"> ・横一列に並んだドットカードを、同じ数のドットの上に置く。カードを置いた後に、数詞を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横一列に並んだハートのカードを、同じ数のハートの絵の上に置く。カードを置いた後に、数詞を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横一列から上下にずれたドットカードを、同じ数のドットの上に置く。カードを置いた後に、数詞を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物がまともに入った袋と数詞を対応させながら、ケースに入れる。 			
具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。								
		<ul style="list-style-type: none"> ・腕にはめた靴下を蛇に見立て、児童にかかわる。児童に靴下をとってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中に入っている玉が見える状態で提示する。児童に玉をとってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の前で玉を隠す。玉が見えなくなった状態で、児童が探すようにする。 				
形を観点に区別すること。								
		<ul style="list-style-type: none"> ・丸、三角、四角の型はめ(取っ手つき課題) ・図形を触って、形の違いを確かめながら型はめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丸、三角、四角の型はめ ・図形を触って、形の違いを確かめながら型はめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コインや細長ブロックを、透明パックのそれぞれの穴へ入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積み木を同じ形の上に入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対面している積み木の並びと同じになるように入れる。 		
								
		<ul style="list-style-type: none"> ・丸、三角、四角の型はめ(取っ手つき課題) ・図形を触って、形の違いを確かめながら型はめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り物の型はめ ・図形を触って、形の違いを確かめながら型はめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック皿を重ねる。 ・図形を触って、形の違いを確かめながら型はめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の簡単な形の型はめ ・図形を触って、形の違いを確かめながら型はめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の簡単な形の型はめ ・図形を触って、形の違いを確かめながら型はめをする。 		
形が同じものを選ぶこと。								
		<ul style="list-style-type: none"> ・複数の簡単な形と複雑な形の型はめ ・図形を触って、形の違いを確かめながら型はめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックコップと皿で、同じ形のもの同士を重ねる。 ・図形を触って、形の違いを確かめながら型はめをする。 					
似ている二つものものを								
		<ul style="list-style-type: none"> ・丸、三角、四角の型はめ(取っ手つき課題) 【評価】一度ではめることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・丸、三角、四角の型はめ 【評価】一度ではめることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック皿を重ねる。 【評価】一度ではめることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・9種類の異なる形が描かれたカードを弁別する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見本と同じ形のカードを組み合わせる。 		

資料I

	結びつけること。	・見本を手掛かりにして、○△□を弁別する。	同じ転がる性質に気づき、リングとボールの違いが分かって弁別する。			
	関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせること。	 2分割のイラストに注目し、正しく組み合わせる。	 絵に注目し、同じもの同士を組み合わせる。	 対になる物が分かり、棒にカードを貼る。	 絵に注目し、同じもの同士を組み合わせる。	 絵に注目し、同じもの同士を組み合わせる。
	同じもの同士の集気づくりをすること。	 ・見本なし ・自分で丸、三角、四角の基準で弁別をする。				
	大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別すること。	 1m先まで丸を持って行って一人で棒に正しくはめる。	 大小の異なる3つの円盤を型にはめる。	 面の大小が異なる円柱をそれぞれの穴に入れる。	 長さの異なる3種類の棒磁石を、印の上に正しく貼る。	 見本の写真カード(棒の大きさは同じ)の大きさをもとに、同じ大きさのイラスト同士を分類する。
測定	あるない、大きい小さい、多い少ない、などの用語に注目して表現すること。					

最終更新日:令和7年1月22日